

グローバル株式市場の見通しと パイオニア・グローバル株式戦略のご紹介

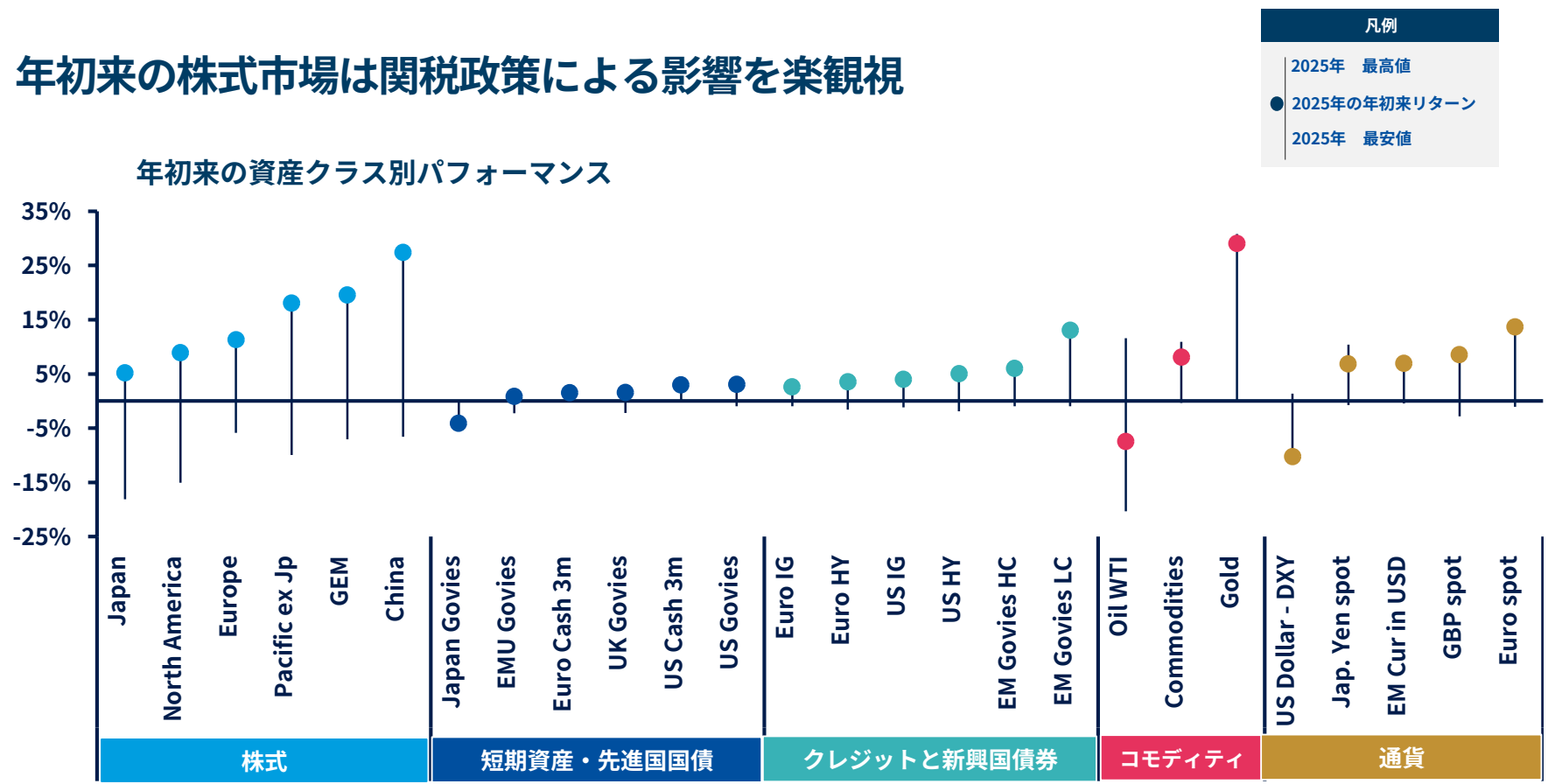
2025年8月

アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第350号
加入協会：
一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

01

グローバル株式市場の見通し

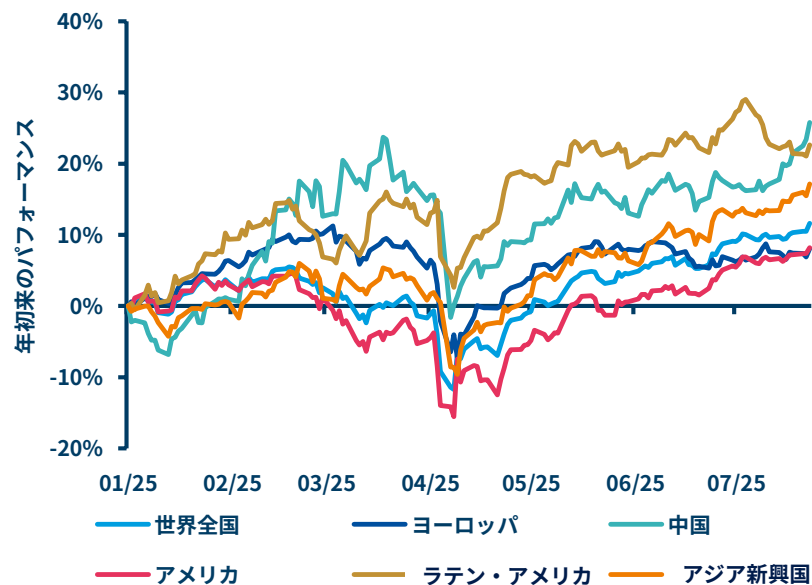
年初来の株式市場は関税政策による影響を楽観視



出典：ブルームバーグ、アムンディ・インベストメント・インスティテュートによる 26 資産クラスおよび外国為替の分析。データは 2025 年 7 月 23 日現在。MM：マネーマーケット。DM：先進国市場。指数プロバイダー：現金、国債、新興国債券指数は JPMorgan、社債指数は BofA、株式指数および新興国通貨指数は MSCI、コモディティ指数は Bloomberg Barclays。DXY 指数は、米ドルと外国通貨のバスケットに対する米ドルの価値を測定する指数です。資産クラスを表すために使用されるすべての指数は、現地通貨建てです。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。

株式市場は貿易合意への楽観的な見方を反映

世界の株式市場は4月の下落以降反発



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ。2025年7月23日現在のデータ。MSCI指数は現地通貨ベース。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

金融市場のボラティリティは落ち着いた水準

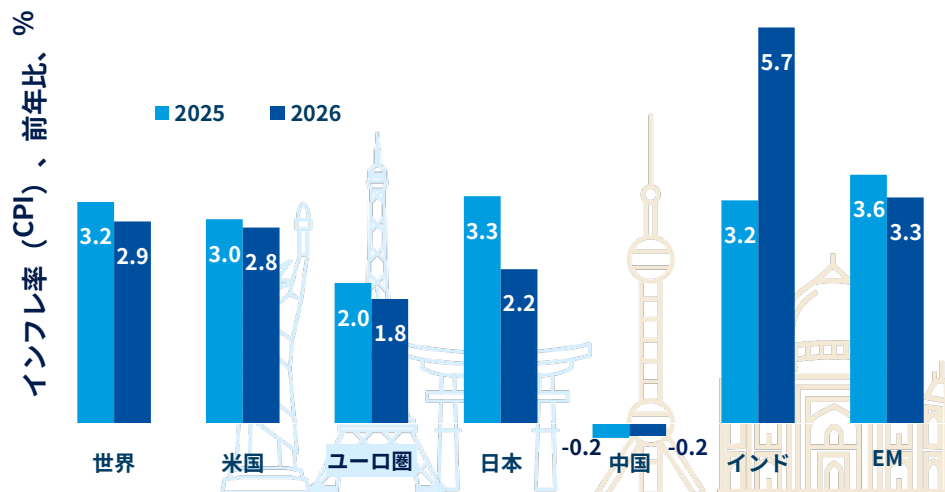


出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ。CBOEボラティリティ指数（VIX）は、S&P 500の30日間の予想ボラティリティを示す指標だ。MOVE指数は、米国金利スワップのOTCオプションのバスケットを追跡することで、米国債券市場のボラティリティを測定する。データは2025年7月24日時点のもの。

世界のインフレ

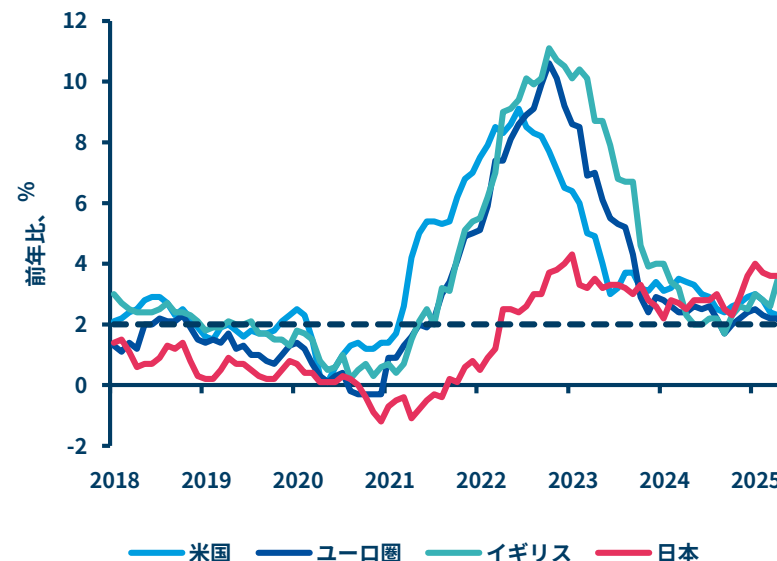
インフレリスクは低下傾向だが、米国では不透明

インフレ予想：米国とユーロ圏で異なる傾向



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、IMF、ブルームバーグ。表は、2025年7月8日時点の情報に基づく参考予想を示しています。2025年6月10日時点の関税に関する仮定：表面上の関税率は10%一律、中国に対しては30%（フェンタニル20%と相互措置10%）；セクション232に基づき、自動車・自動車部品に25%のセクター別関税、鉄鋼・アルミニウムに50%（6月4日から）。カナダとメキシコに対するセクター別関税は、USMCAに準拠しない輸入品にのみ適用される。

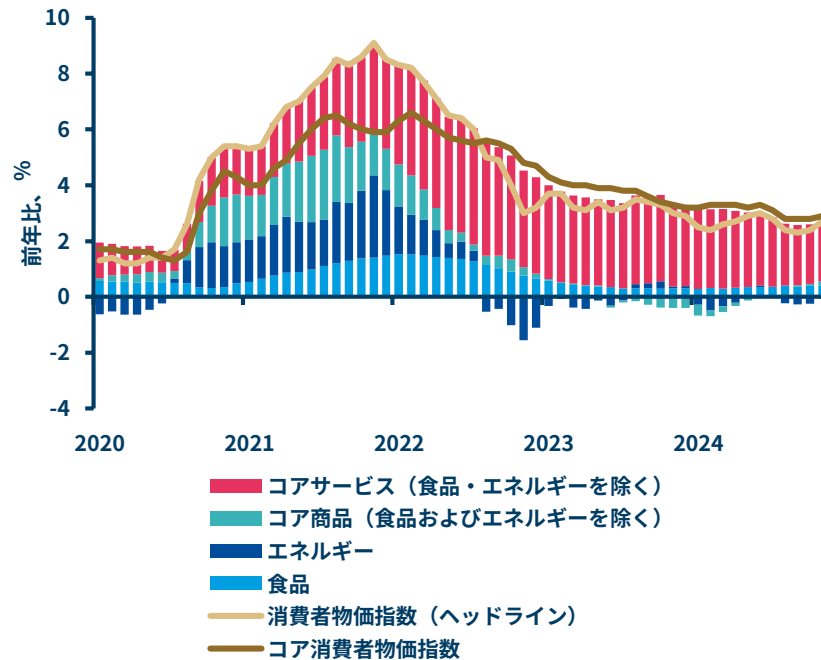
消費者物価指数（CPI）：ユーロ圏のインフレ率はECBの2%目標を下回る水準に低下



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート（2025年7月16日現在）。2025年6月時点の最新データ（日本を除く。日本は2025年5月時点）。

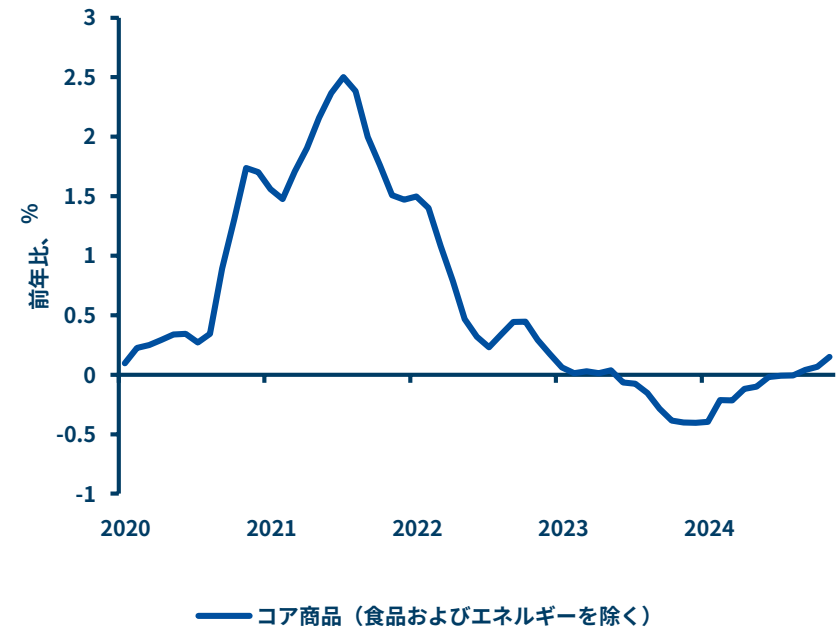
米国 | インフレ率の上振れリスク

米国のインフレ率：サービスが引き続き主因だが、関税によって財のインフレが再加速する可能性



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ、最新のデータは2025年6月末時点のもの。

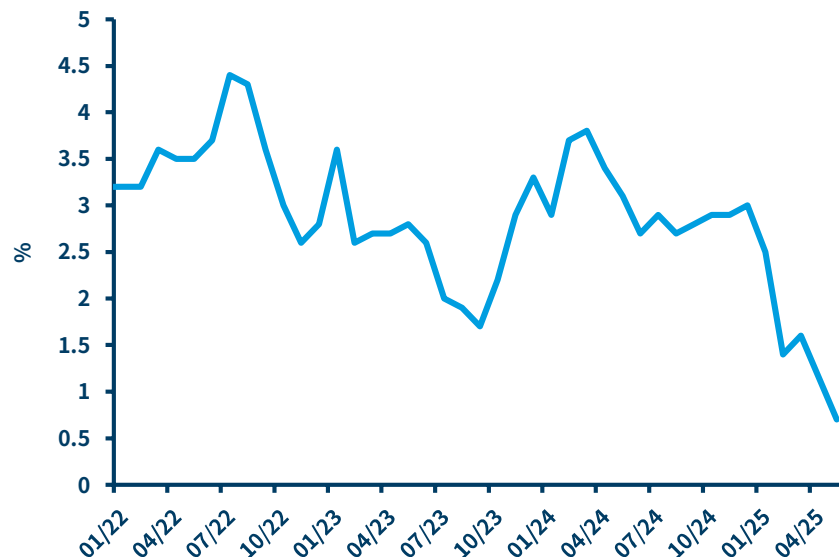
関税が財のインフレに影響を与える可能性



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ、最新のデータは2025年6月末時点のもの。

米国 | 個人消費が鈍化

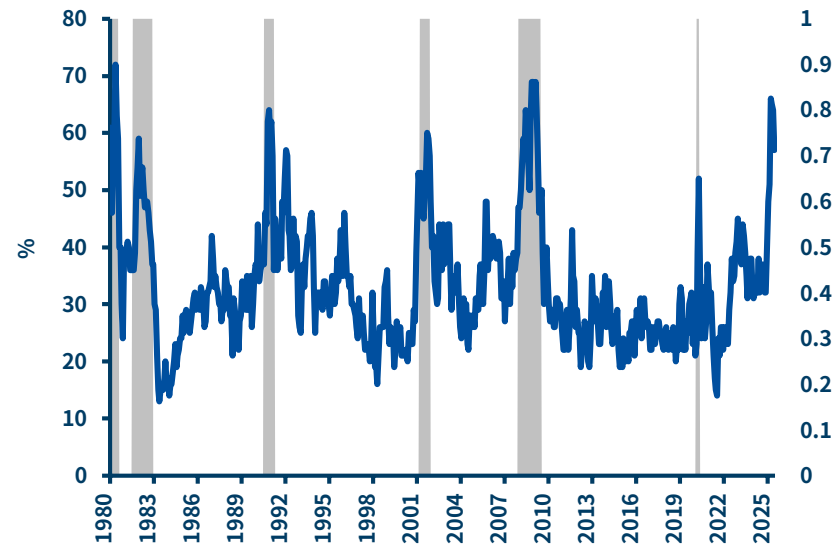
米国の個人消費は低迷



— サービス支出、物価調整済み (6ヶ月年率換算)

出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ。2025年5月時点の月次データ（季節調整済み）。

米国の労働者は雇用を失うことを懸念



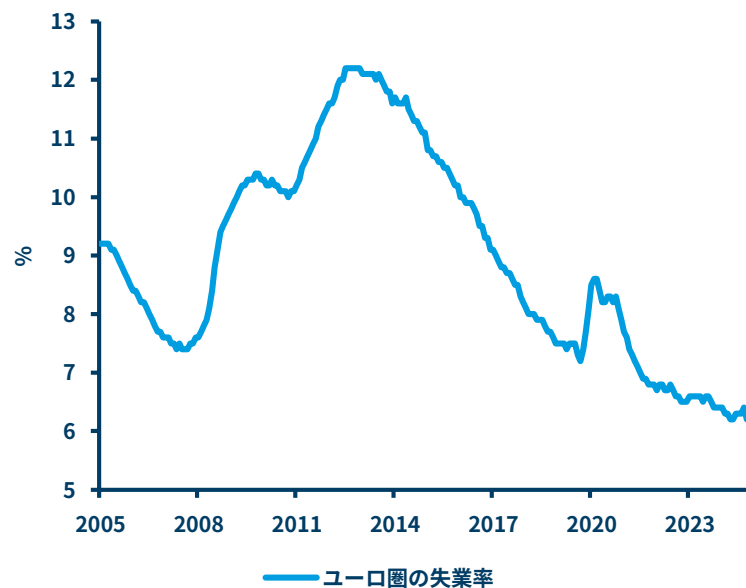
■ 不況 — 12ヶ月間の経済見通しにおける失業増加懸念

出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ（ミシガン大学調査に基づく）。次年度における失業率の予想変化を示す。月次データで、直近期間は2025年7月を指す。

欧州

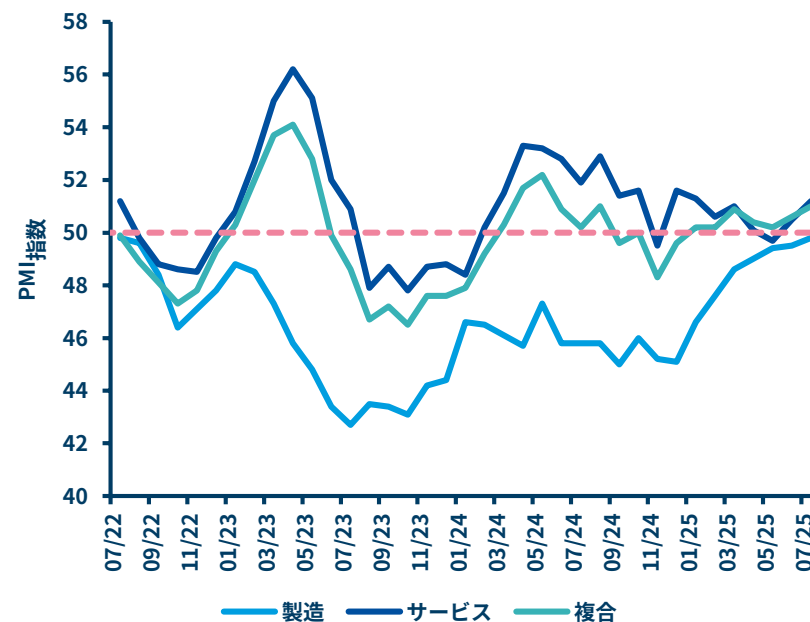
堅調な労働市場が消費をサポート

失業率は過去最低を記録



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ。月次および季節調整済みデータ、最新のデータは2025年5月時点のもの。

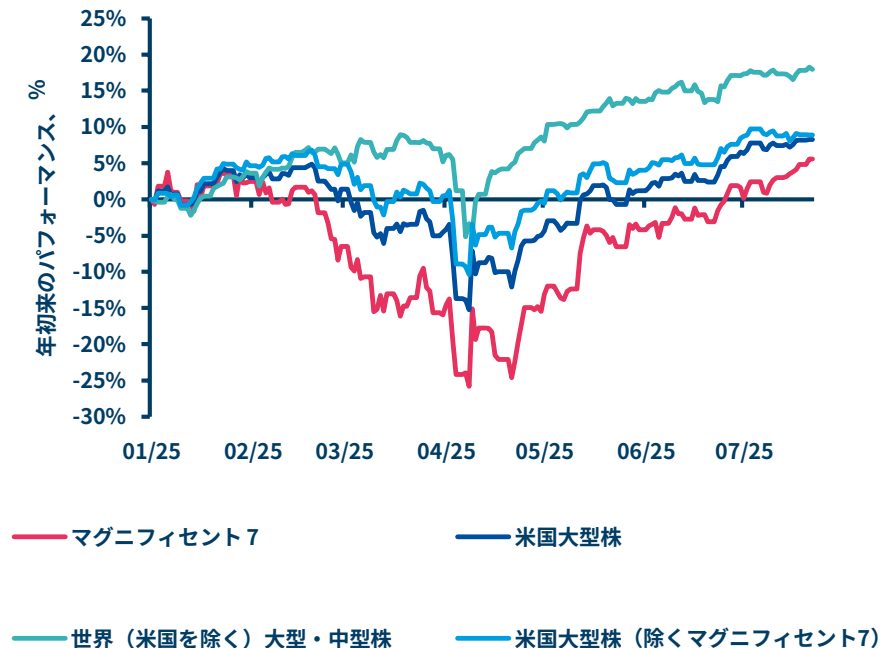
欧州の製造業PMIは改善傾向



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ。2025年7月時点の月次データ。

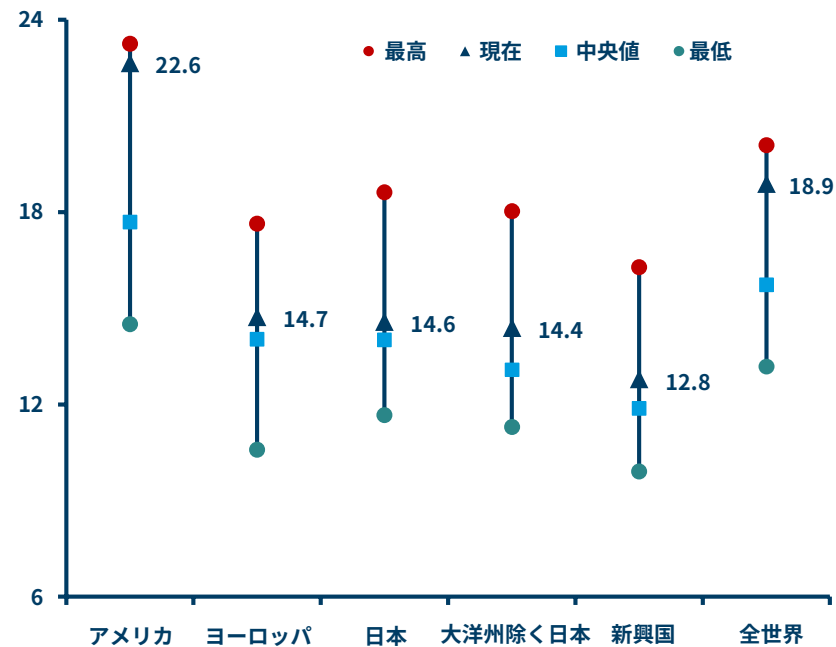
年初来の株価上昇を受けて、分散投資がより重要に

2025年、市場のトレンドは逆転



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、ブルームバーグ。データは2025年7月22日現在。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

12ヶ月先予想株価収益率（過去12年間）



出典：アムンディ・インベストメント・インスティテュート、Datastream、LSEG。データは2025年7月18日現在。MSCI指数。

02

パイオニア・グローバル株式戦略 概要

戦略概要

ビクトリー・キャピタル傘下のパイオニア・インベストメンツ（旧アムンディUS）が運用するグローバル株式戦略

ベンチマーク	MSCI ACWI（マンドートによりワールドやKokusai対応）
投資スタイル	大型コア、高クオリティ
目標超過リターン	2-3%
想定トラッキングエラー	3-6%
保有銘柄数	60-80程度
通常のアクティブシェア	85-95%
想定回転率	80-95%
米国以外の株式	アクティブウェイト合計-5%以上（ただし、新興国合計の絶対ウェイト最大15%）
戦略AUM	45.6億ドル(約6,500億円) 2025年6月末現在
ポートフォリオ・マネージャー	5名：マルコ・ピロンディーニ、ジョン・ペッカム、ブライアン・チェン、ジェフ・サクノヴィッツ、ポール・ジャクソン

（出所）パイオニア・インベストメンツ

上記には内部的なガイドラインが含まれ、必ずしも目論見書または法定的制限を示すものではありません。これらの内部ガイドラインは、ポートフォリオ運用の日常的な管理指針として使用されます。これらは予告なく変更される可能性があり、ポートフォリオのエクスポージャー、制限、リスクの長期的な見解として信頼されるべきではありません。

ビクトリー・キャピタルとアムンディ: 戦略的パートナーシップ

- ビクトリー・キャピタル・マネジメント・インクは米国SEC登録の資産運用会社。機関投資家や年金基金、個人投資家等に多様な投資戦略を提供
- 2025年4月1日、ビクトリー・キャピタルとアムンディは戦略的パートナーシップを締結。旧アムンディUSの運用部門はパイオニア・インベストメンツに改称され、ビクトリー・キャピタルのフランチャイズのひとつとなった。この取引によってアムンディはビクトリー・キャピタルの戦略的株主となり、両社は15年間の相互グローバル販売契約を通じて長期的な戦略的パートナーとなった
- この取引は、ポートフォリオ運用を担当する人材、哲学、プロセスに影響を与えるものではない

運用ソリューションの拡大

- 米国以外の顧客にとって、より広範な米国投資プラットフォームへのアクセスが可能に
- ビクトリー・キャピタルは、幅広い運用戦略フランチャイズとソリューション・プラットフォームから構成され、提供する商品は、投資対象、規模、スタイルなどの異なる戦略を網羅

顧客重視

- 両社のパートナーシップによるより強固な顧客サービスモデル
- ビクトリー・キャピタルは、1912年の設立当時から機関投資家のために資産運用を行ってきた。現在では世界中の機関投資家、年金基金、個人投資家等に質の高い投資ソリューションを提供

グローバルな販売網

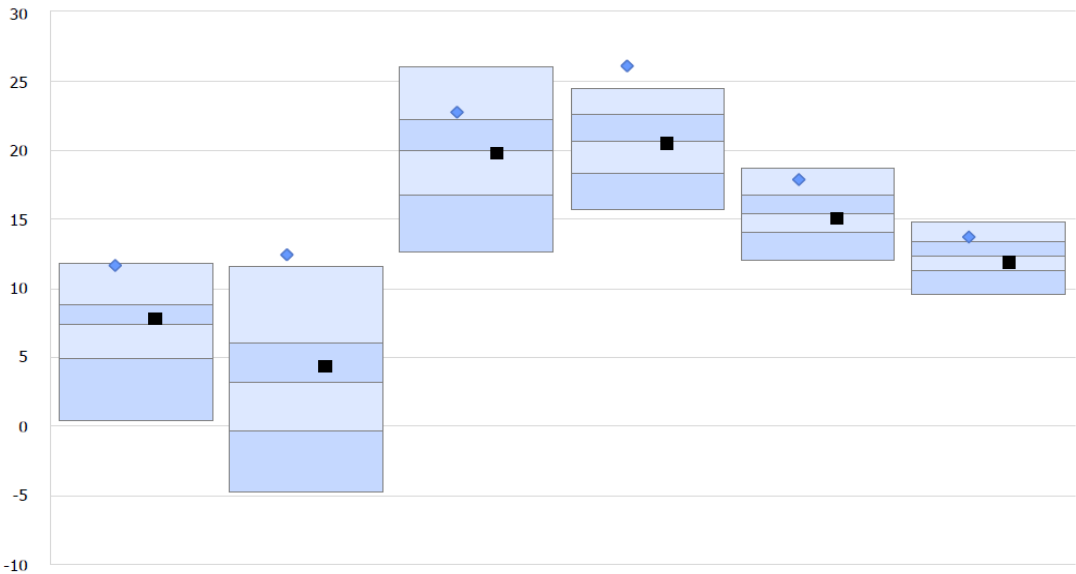
- 15年間の販売契約により、両社の顧客は、より幅広い運用商品への投資が可能
- ビクトリー・キャピタルは、大規模で統合された販売プラットフォームを提供。それぞれの運用チームは顧客のためのポートフォリオ運用にリソースを集中

(出所) パイオニア・インベストメンツ

パートナーシップ取引に関する詳細と重要な情報は次のリンク先のプレスリリースをご参照ください。 [Amundi.com](https://www.amundi.com)

競合比較：eVestment

Global Large Cap Core Equityユニバース



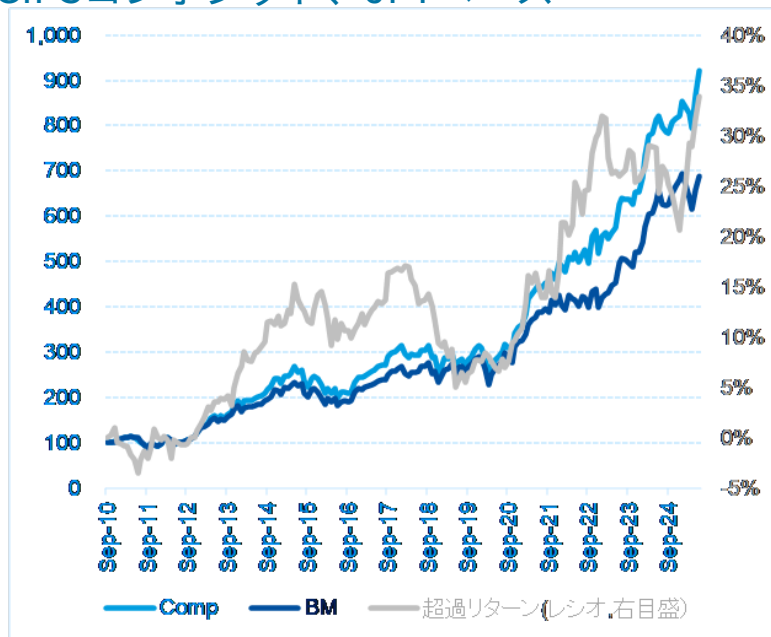
Universe: eVestment Global Large Cap Core Equity (Percentile)

	VT	RM	MRQ		1 Year		3 Years		5 Years		7 Years		10 Years	
				Rk		Rk		Rk		Rk		Rk		Rk
5th percentile			11.78		11.57		26.01		24.47		18.65		14.79	
25th percentile			8.78		5.99		22.23		22.59		16.72		13.35	
Median			7.31		3.16		19.95		20.60		15.38		12.33	
75th percentile			4.87		-0.37		16.69		18.31		14.04		11.26	
95th percentile			0.36		-4.80		12.57		15.64		11.99		9.54	
# of Observations			343		343		325		283		245		196	
◆ Victory Capital Management Inc.: Pioneer Global Equity (fka Amundi)	SA	GF	11.61	6	12.40	4	22.73	20	26.09	1	17.84	12	13.68	20
■ MSCI Index: MSCI ACWI-ND	IX	IX	7.72	42	4.32	36	19.77	51	20.48	51	15.06	57	11.83	61

(出所)eVestment、円ベース、2025年6月末現在。上記は過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

パフォーマンス（年度ベース）

GIPSコンポジット、JPYベース



Past	Comp	BM	ExRtn	TE	IR
1Y	12.4%	4.3%	8.1%	5.8%	1.39
3Y(p.a.)	22.7%	19.8%	3.0%	5.6%	0.53
5Y(p.a.)	26.1%	20.5%	5.6%	5.5%	1.02
10Y(p.a.)	13.7%	11.8%	1.8%	4.7%	0.39
S.I.(p.a.)	16.3%	14.0%	2.3%	4.3%	0.53

(出所)アムンディ・ジャパン、2025年6月末現在。上記は過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

FY	Comp	BM	ExRtn	TE	IR
2011	-0.9%	-1.4%	0.6%	3.6%	0.16
2012	30.5%	26.3%	4.2%	2.9%	1.45
2013	33.6%	27.7%	5.9%	3.0%	1.97
2014	28.5%	22.8%	5.7%	2.4%	2.42
2015	-11.0%	-10.3%	-0.7%	4.2%	-0.17
2016	14.3%	14.1%	0.2%	4.8%	0.05
2017	14.3%	9.6%	4.7%	2.4%	1.93
2018	-1.3%	6.8%	-8.1%	3.0%	-2.73
2019	-13.5%	-13.4%	0.0%	4.1%	-0.00
2020	70.0%	58.2%	11.8%	3.9%	3.01
2021	22.0%	17.8%	4.1%	6.1%	0.67
2022	7.9%	1.5%	6.5%	6.6%	0.98
2023	41.5%	40.1%	1.4%	3.9%	0.35
2024	6.0%	5.9%	0.1%	6.6%	0.02
FYTD	11.6%	7.7%	3.9%	4.5%	0.86

(Comp)GIPS_1747 – Global Equity gross fees、(BM)MSCI-ACWI ND

03

投資哲学・運用プロセス

投資哲学

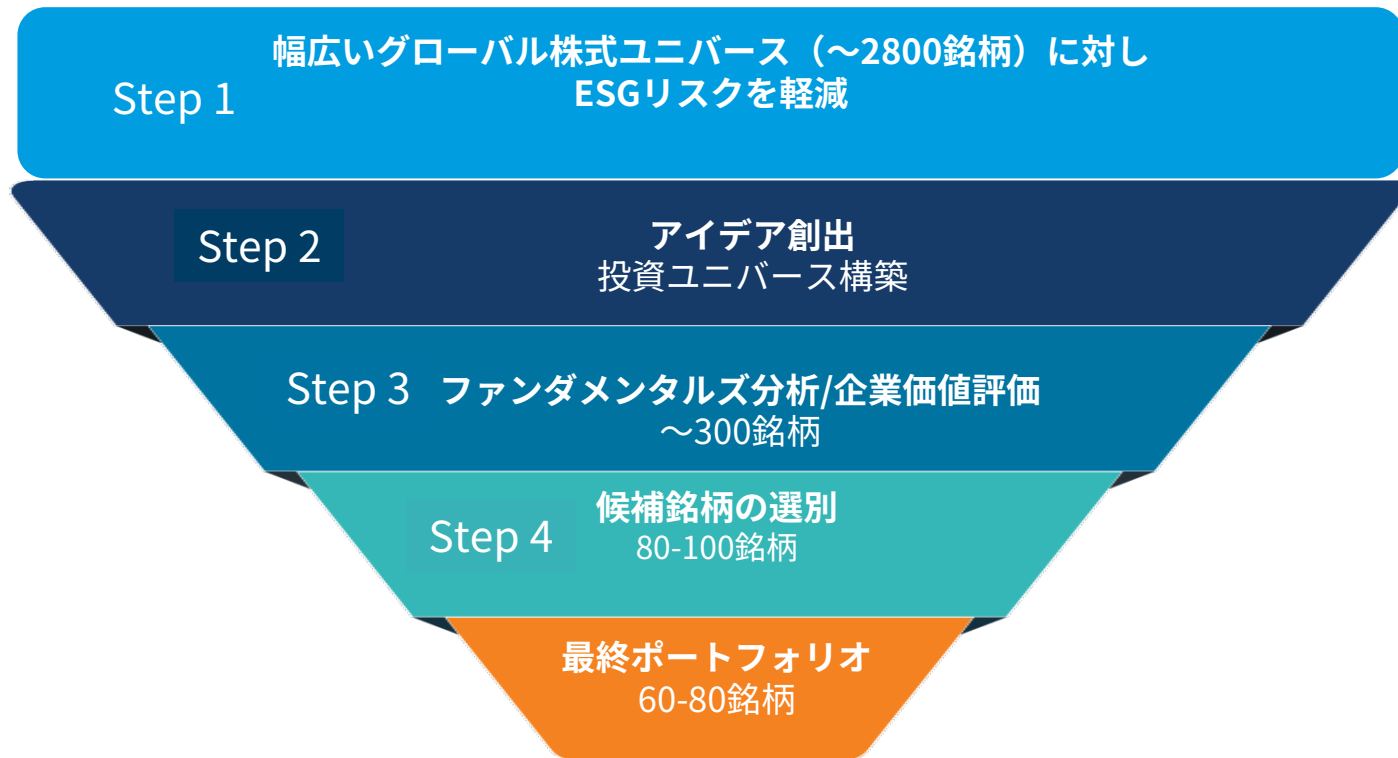
トップダウンとボトムアップを融合し、持続的なビジネスモデル（含むESG）を持つ企業を選別



(出所)パイオニア・インベストメンツ

運用プロセス (Step 1~4)

トップダウンとボトムアップの融合、科学的なリスク管理に基づいたポートフォリオ構築



（出所）パイオニア・インベストメンツ、2025年6月末現在

上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。内部的なガイドラインが含まれ、必ずしも目論見書または法定の制限を示すものではありません。これらの内部ガイドラインは、ポートフォリオ運用の日常的な管理指針として使用されます。これらは予告なく変更される可能性があり、ポートフォリオのエクスポージャー、制限、リスクの長期的な見解として信頼されるべきではありません。

ESGリスクを運用プロセスの各ステップで考慮

Step1～2:ユニバース構築の一環		Step3～4：ファンダメンタルズ分析、ポートフォリオ構築およびリスク管理に統合	
a	業種レベルの除外	b	会社レベルの除外
- たばこ製品 - 燃料炭 - 非人道的兵器の製造または販売 など		c	インテグレーション
		- MSCI、サステナリティクス、その他のプロバイダーから収集されたデータを用い、重要なESGリスク（Materiality）を特定 - これらESGリスクの財務への潜在的な影響、およびそれに対する経営陣のコミットメントを評価 - ESG評価に基づくポートフォリオ全体のESGリスクを管理	
		d	エンゲージメント
		議決権行使: 議決権は、顧客資産の長期的な経済的価値を高めることを目的としたビクトリー・キャピタルの議決権行使ガイドラインに沿って行使されます。ガイドラインに定めのないケースについては、運用チームは、議決権行使委員会の承認を条件として、利益相反が特定されない限り、ケースバイケースで判断を行います。 ミーティングと電話会議: ESGリスクについて経営陣と話し合い、進捗状況をモニタリングしています	

（出所）パイオニア・インベストメンツ、2025年6月末現在

上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。内部的なガイドラインが含まれ、必ずしも目論見書または法定の制限を示すものではありません。これらの内部ガイドラインは、ポートフォリオ運用の日常的な管理指針として使用されます。これらは予告なく変更される可能性があり、ポートフォリオのエクスポージャー、制限、リスクの長期的な見解として信頼されるべきではありません。

Step2：アイデア創出-トップダウン判断



(出所)パイオニア・インベストメンツ

上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の情報は変更される可能性があります。

(事例) 現在の投資テーマの一例



高い実質金利

ほとんどの中央銀行は利下げに転じているが、実質金利は引き続き高位で推移する可能性があることから、キャッシュフロー創出力が高く、割高でない銘柄（クオリティバリュー）を選好



鉱工業生産

最近の米国の「リショアリング」方針は、製造業やエネルギー生産を含む業種に投資と成長をもたらす可能性



インフラと防衛

ドイツの財政緩和とインフラ・防衛への投資により、今後数年にわたり、交通インフラ、エネルギー、建設などの分野に利益がもたらされると見られる



電化

送電網の近代化、エネルギー転換、電気機器の改善など、電化のトレンドから経済的に利益を得ることができると思われる企業を選好

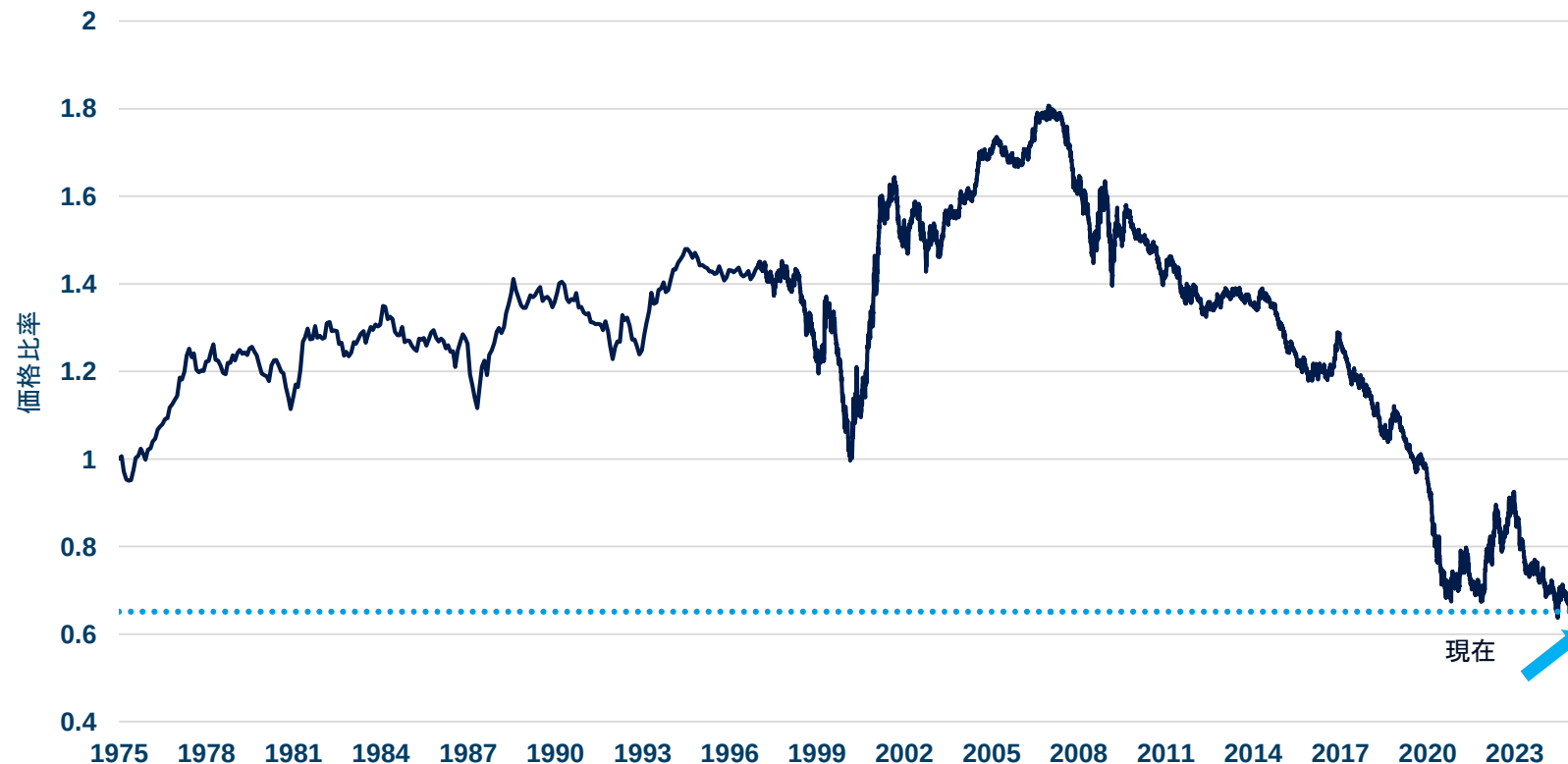
(出所)パイオニア・インベストメンツ、2025年6月末時点。

ポートフォリオはアクティブに運用されており、テーマは変更される可能性があります。

世界的にバリューは底打ち？

2025年6月30日現在

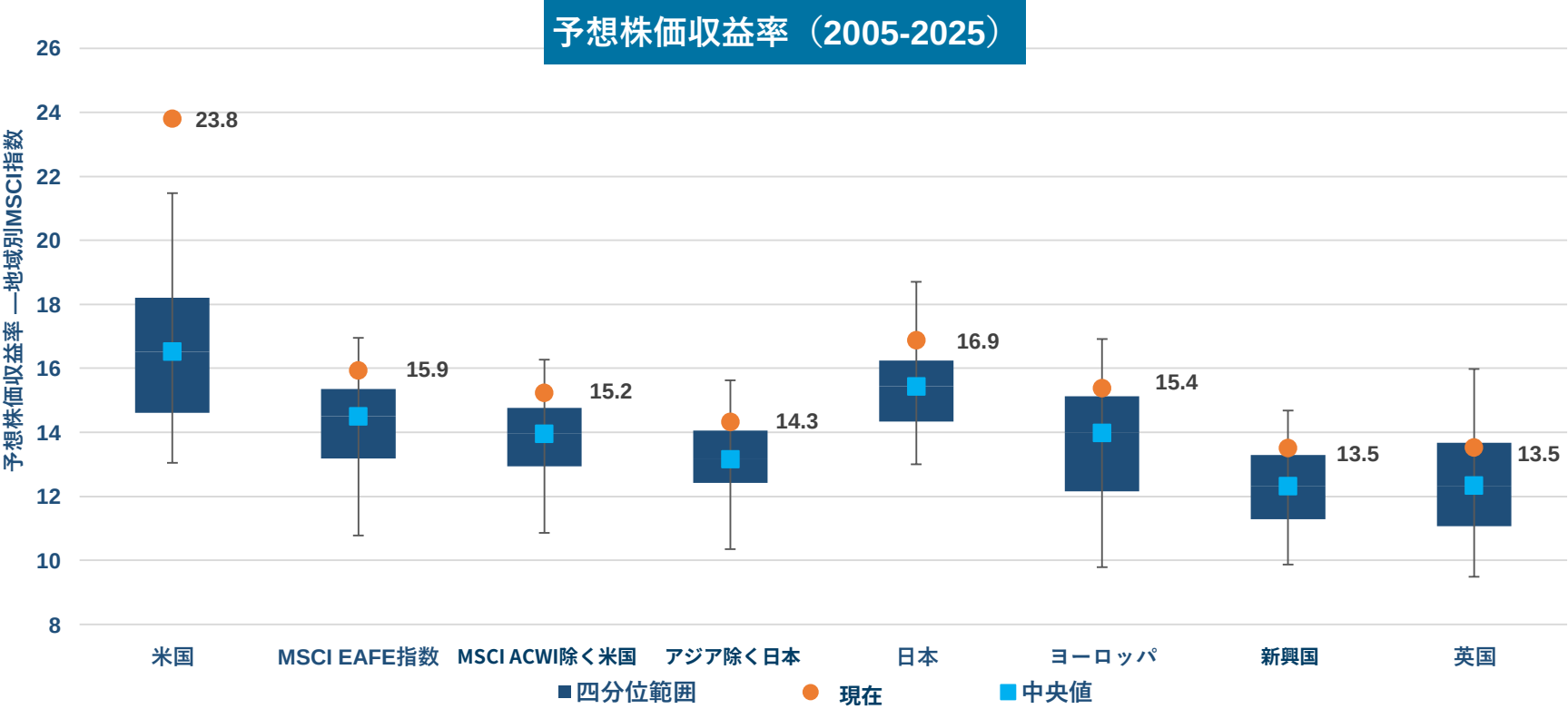
MSCIワールド・バリュー指数 / MSCIワールド・グロース指数



(出所) ブルームバーグ。示されているMSCI指数は、それぞれグローバルバリュー株と成長株の一般的に使用される広範な指標です。水色の点線は、現在の価格比率のレベルを表し、現在の価値を示します。説明のみを目的としています。データは過去のパフォーマンスに基づいており、将来のリターンを保証するものではありません。このスライドに含まれるMSCIワールドバリューおよびMSCI世界成長指数に関する情報は、説明のみを目的としています。これらはファンドのベンチマークではなく、ファンドの保有量を表すものではありません。この情報は、ファンドのパフォーマンスに関する直接的な比較を目的としたものではなく、この点でそれに依存すべきではありません。

グローバル株式市場のバリュエーション

2025年6月30日現在



(出所) ブルームバーグ。予想株価収益率(Fwd PE)は、株式の現在の価格をアナリストの1年間の1株当たり利益予測のコンセンサス推定値で割ったものです。分析は、2005年5月31日から20年間にわたるFwd PEの四分位ランキングに基づいています。四分位範囲は、第1四分位と第3四分位の差です。黒い線の「ひげ」は、10～90パーセンタイルの範囲を示しています。代表される指数は次のとおりです:MSCI USA NRインデックス、MSCIワールドNRインデックス、MSCIオールカントリーワールド(ACWI)NRインデックス、MSCIアジア(日本を除く)NRインデックス、MSCIヨーロッパNRインデックス、MSCI新興市場NRインデックス、MSCI英国(英国)NRインデックス。S&P 500インデックスは米国を表します。インデックスの定義については、付録を参照してください。株価収益率(P/E)は、株式の価格を収益と比較することによって企業を評価する方法です。株価収益率は、株式の価格を会社の一株当たり利益で割ったものに等しくなります。1株当たり利益は、会社の利益のうち、発行済み普通株式1株あたりに割り当てられる部分です。説明のみを目的としています。データは過去のパフォーマンスに基づいており、将来のリターンを保証するものではありません。このスライドに含まれるインデックスに関する情報は、説明のみを目的としています。これらの指数はファンドのベンチマークではなく、ファンドの保有量を表すものではありません。この情報は、ファンドのパフォーマンスに関する直接的な比較を目的としたものではなく、この点でそれに依存すべきではありません。

Step2：アイデア創出 - ボトムアップ

定性的インプットと定量スクリーニング

ファンダメンタルズ分析を実施する前のインプット

- 運用チームおよびアムンディグループ内リソースに基づく投資アイデアによる幅広い調査
 - グローバル株式リサーチ
 - 経営陣との対話
 - ポートフォリオマネージャー
 - 業界コンファレンスなど

定量スクリーニング：バリュエーションとクオリティを重視

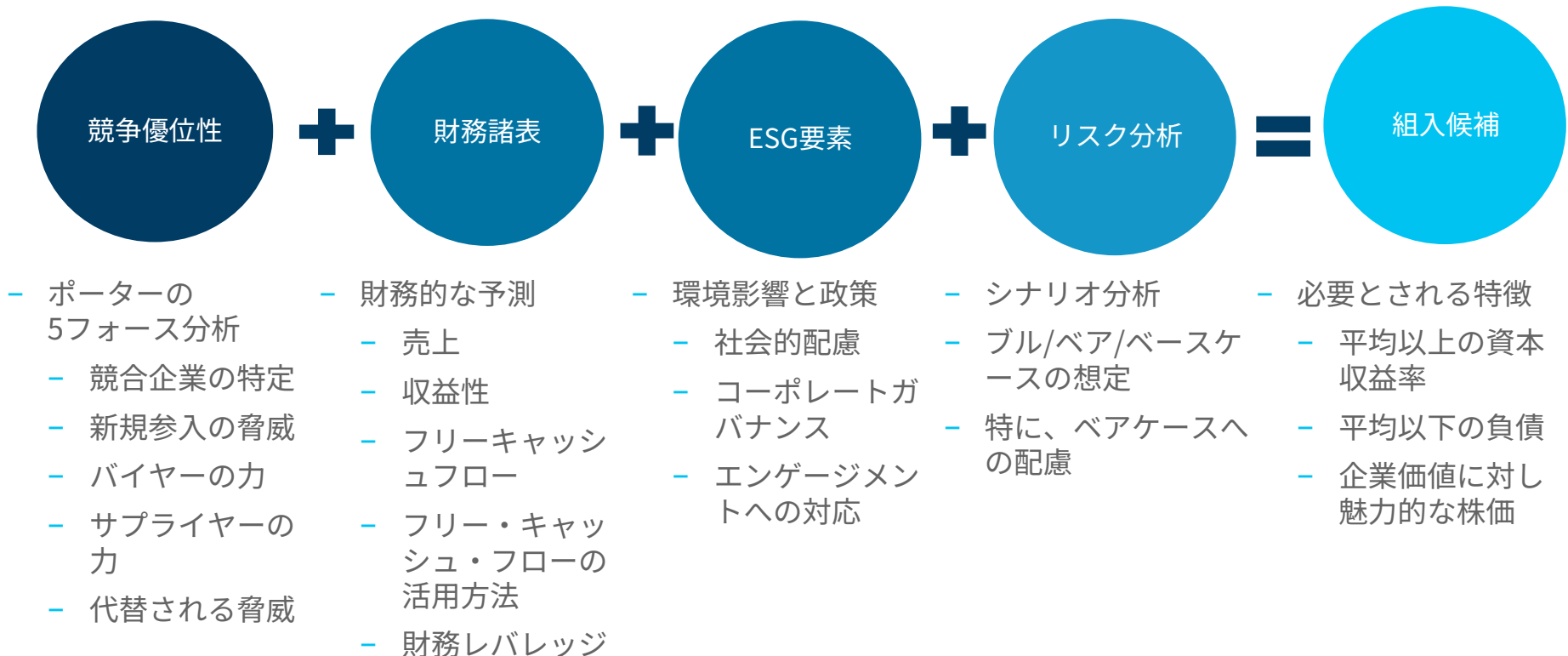
- MSCI指数を構成する約2800銘柄に対して実施。以下9個のファクターを用いて総合的に評価
 - 5つのバリュエーション関連指標 (P/BV, P/E, 予想 P/E, EV/EBITA, 配当利回り)
 - 3つのクオリティ関連指標 (長期負債比率, ROE, 流動比率)
 - 株価モメンタム

(出所) バイオニア・インベストメンツ、2025年6月末現在

ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の情報は変更される可能性があります。

Step3：ファンダメンタルズ分析および企業価値評価

競争優位性や財務健全性、ESGなどの定性面を考慮しつつ、EVAモデルを用いて定量評価



(出所)パイオニア・インベストメンツ

上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の情報は変更される可能性があります。

Step4：ポートフォリオ構築時におけるリスク管理

アクティブリターン追及とリスク管理（絶対および相対）の両立

ポートフォリオ構築	リスク管理
ポジションサイズ	ポートフォリオ運営
- 当初は通常0.5-1.0% - 確信度に応じ、最大6.0%	- 適切な分散効果を確保する - 単一の証券のパフォーマンス貢献度を監視する
- 考慮事項： - 上振れリスクと下振れリスクのバランス - 国別配分とセクター配分：トップダウンテーマとの整合性 - 既存のポートフォリオとの相関・リスク寄与（シナリオ分析） - トラッキングエラーへの寄与	出来高、インサイダーの売却、自社株買い、などのモニタリング
通常保有銘柄数は60から80	
時価総額	リスク関連指標の目標値
通常> 100億ドル	トラッキングエラー：3%～6%
その他	トラッキングエラーに占める単一銘柄の寄与：10%
- ベンチマークを上回るESGスコア（Beat the BM） - 現金は通常5%未満 - 回転率：通常80～95%	- ボトムアップのリスク要因：40%～60% - その他のリスク要因：40%～60%
投資パラメータ	- 推定ベータ：最大1.1（通常1.0未満） - アクティブシェア：通常85%～95%
- 個別銘柄：最大6%（購入時は最大5%） - セクター：アクティブウェイト +/- 10%以内 - 米国外比率：アクティブウェイト -5%よりも高く維持 - 新興国市場：絶対ウェイト 最大15%	

（出所）パイオニア・インベストメンツ

上記には内部的なガイドラインが含まれ、必ずしも目論見書または法定の制限を示すものではありません。これらの内部ガイドラインは、ポートフォリオ運用の日常的な管理指針として使用されます。これらは予告なく変更される可能性があり、ポートフォリオのエクスポージャー、制限、リスクの長期的な見解として信頼されるべきではありません。

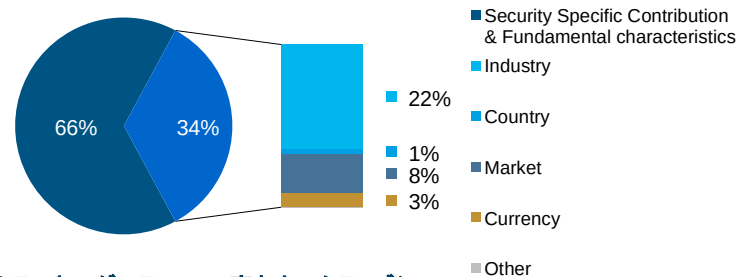
リスク管理の実例

Barraモデルを用い、TE構成要素などをモニタリング

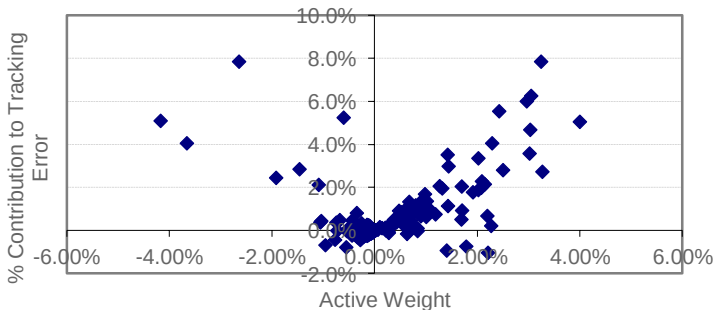
リスクエクスポージャーレポート

基準日:	2025年6月30日
戦略名:	パイオニア・グローバル株式戦略
ベンチマーク:	MSCI ACWI指数
ベータ:	0.94
アクティブシェア:	89.95%

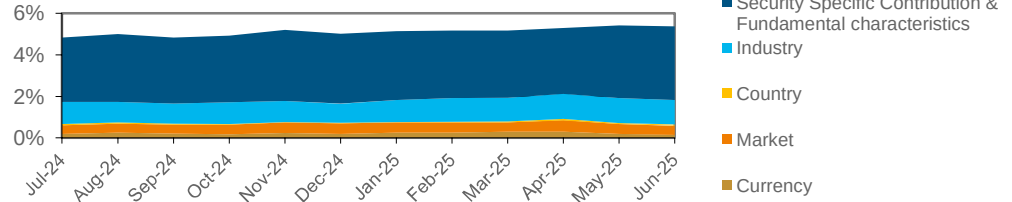
銘柄固有リスクとシステマティック・リスク



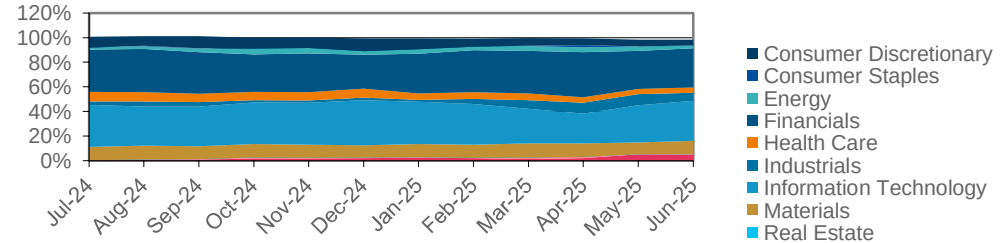
トラッキングエラーへの寄与とアクティブシェア



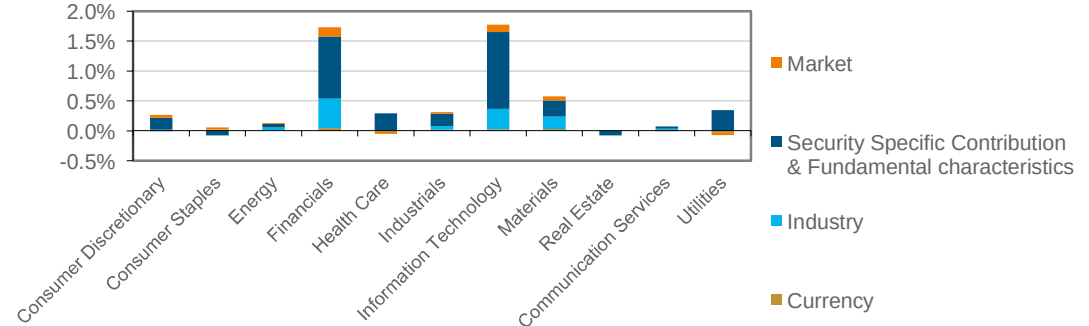
推定トラッキングエラーのファクター別寄与と推移



推定トラッキングエラーのGICS別寄与と推移



推定トラッキングエラーのGICS/ファクター別寄与



(出所)パイオニア・インベストメンツ、2025年6月末時点。当戦略の代表口座を利用、ベンチマークはMSCI ACWI。ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の保有状況と異なる場合があります。

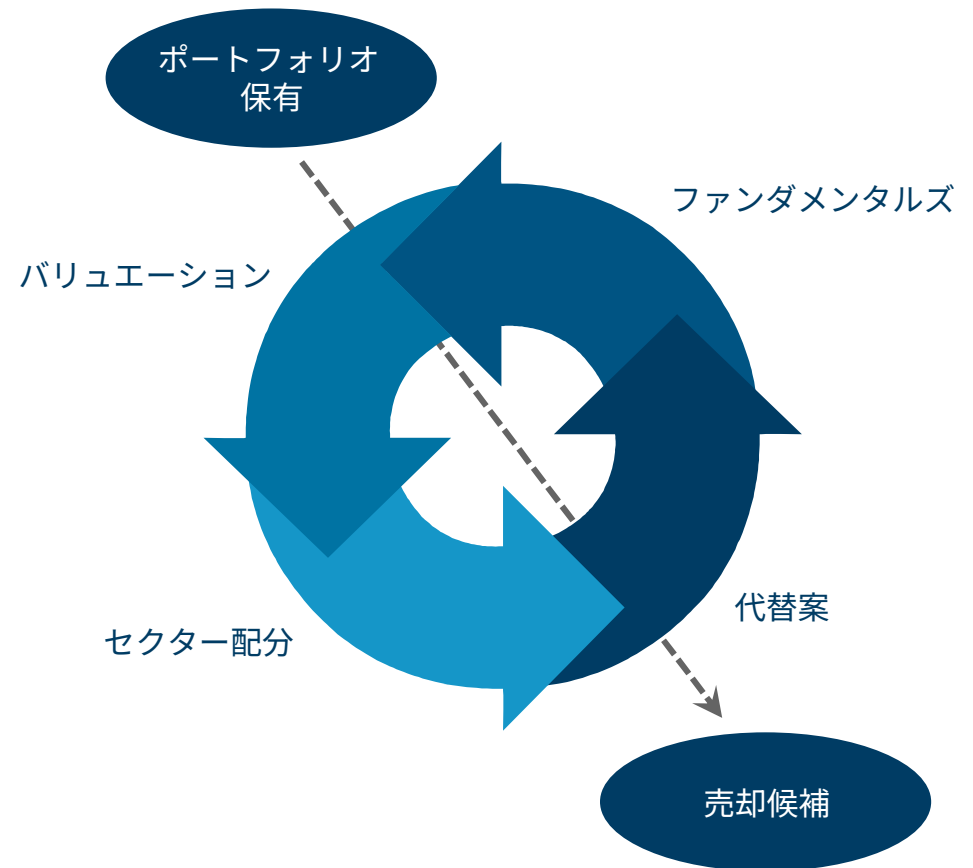
売却基準

次のいずれかの基準を満たすと、ポジションの解消または大幅削減につながる

- 目標価格到達
- より魅力的な代替候補銘柄の発見
- 競争優位性の悪化
- ESGを含むファンダメンタルズ悪化

その他の考慮事項は次のとおり

- ポートフォリオのリスク管理
- インサイダーによる売却
- 流動性
- 自社株買い



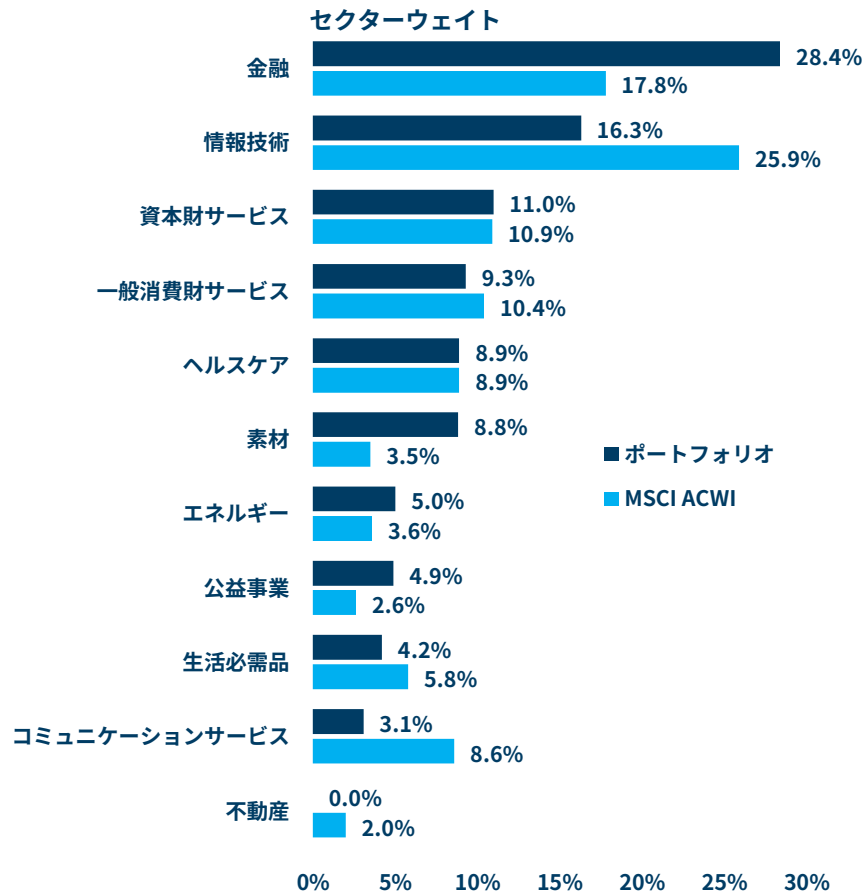
(出所)パイオニア・インベストメンツ

上記は、例示をもって理解を深めて頂くことを目的としたイメージ図です。ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の情報は変更される可能性があります。

04

ポートフォリオの特長

セクター配分および銘柄Top10



組入上位10銘柄	セクター	組入比率	MSCI ACWI ウェイト
Bank Of America	金融	4.4%	0.4%
Cardinal Health	ヘルスケア	3.3%	0.0%
Hensoldt	資本財サービス	3.2%	—
KB Financial	金融	3.1%	0.0%
Eversource Energy	公益事業	3.1%	0.0%
CRH	素材	3.0%	0.1%
Alphabet	コミュニケーション サービス	3.0%	2.3%
ABN AMRO Bank	金融	3.0%	0.0%
Amazon	一般消費財サービス	2.8%	2.5%
Cisco Systems	情報技術	2.6%	0.3%
合計		31.5%	5.6%

(出所) バイオニア・インベストメンツ、2025年6月末時点。当戦略の代表口座を利用、ベンチマークはMSCI ACWI。現金保有のため、ポートフォリオの合計は100%になりません。ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の保有状況と異なる場合があります。記載されている特定の証券の買付や売却を推奨するものではありません。

特性値およびオーバー/アンダーウェイト銘柄

パイオニア・グローバル株式戦略(2025年6月30日時点)

ファンダメンタルズ	ポートフォリオ	MSCI ACWI
加重平均時価総額	\$295B	\$750B
時価総額の中央値	\$33B	\$15B
平均株価収益率 (過去)	16.3倍	22.0倍
平均株価収益率 (推計)	14.1倍	19.7倍
自己資本利益率 (1年)	13.4%	19.7%
長期負債/資本	30.3%	33.8%

リスク	ポートフォリオ	MSCI ACWI
3年間のベータ (グロス/ネット)	0.97 / 0.97	1.00
3年間のトラッキングエラー (グロス/ネット)	5.60% / 5.60%	--
3年間のシャープレシオ (グロス/ネット)	1.01 / 0.96	0.85

分散	ポートフォリオ	MSCI ACWI
保有銘柄数	69	2,528
アクティブシェア	90%	--

オーバーウェイト上位	ポートフォリオ	MSCI ACWI	アクティブウェイト
Bank of America	4.4%	0.4%	4.0%
Cardinal Health	3.3%	0.0%	3.3%
Hensoldt	3.2%	--	3.2%
KB Financial	3.1%	0.0%	3.1%
Eversource Energy	3.1%	0.0%	3.0%

アンダーウェイト上位	ポートフォリオ	MSCI ACWI	アクティブウェイト
Microsoft	--	4.2%	-4.2%
Apple	--	3.7%	-3.7%
NVIDIA	1.9%	4.6%	-2.6%
Meta Platforms	--	1.9%	-1.9%
Broadcom	--	1.5%	-1.5%

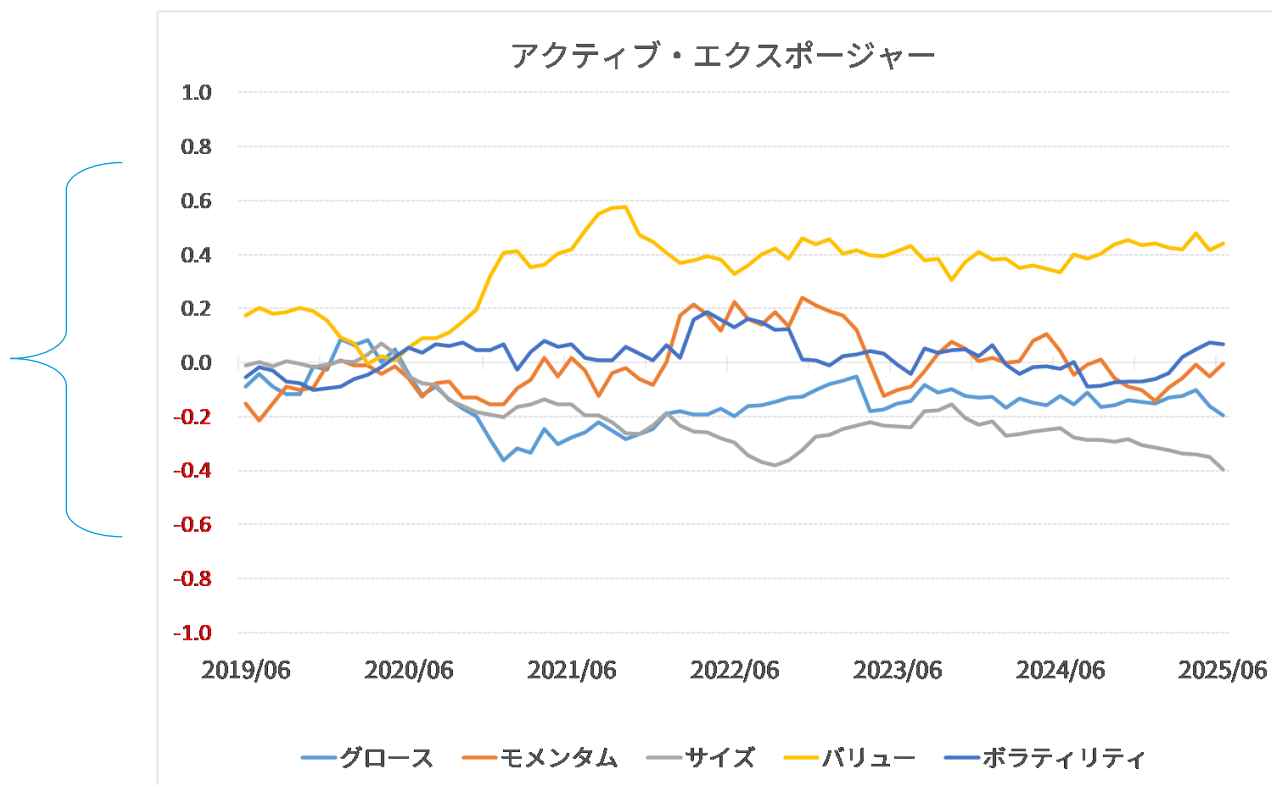
地域配分	ポートフォリオ	MSCI ACWI
北米	56.1%	65.3%
欧州	25.5%	16.9%
アジア先進国	8.1%	7.2%
新興国市場	8.2%	10.7%
キャッシュ	2.7%	--

(出所)パイオニア・インベストメンツ、2025年6月末時点、米ドルベース。当戦略の代表口座を利用。ベンチマークはMSCI ACWI。ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の保有状況と異なる場合があります。記載されている特定の証券の買付や売却を推奨するものではありません。

TE構成要素およびリスクインデックスエクスポージャーの推移

スタイル特性はトップダウン判断に応じてレンジ内で変動

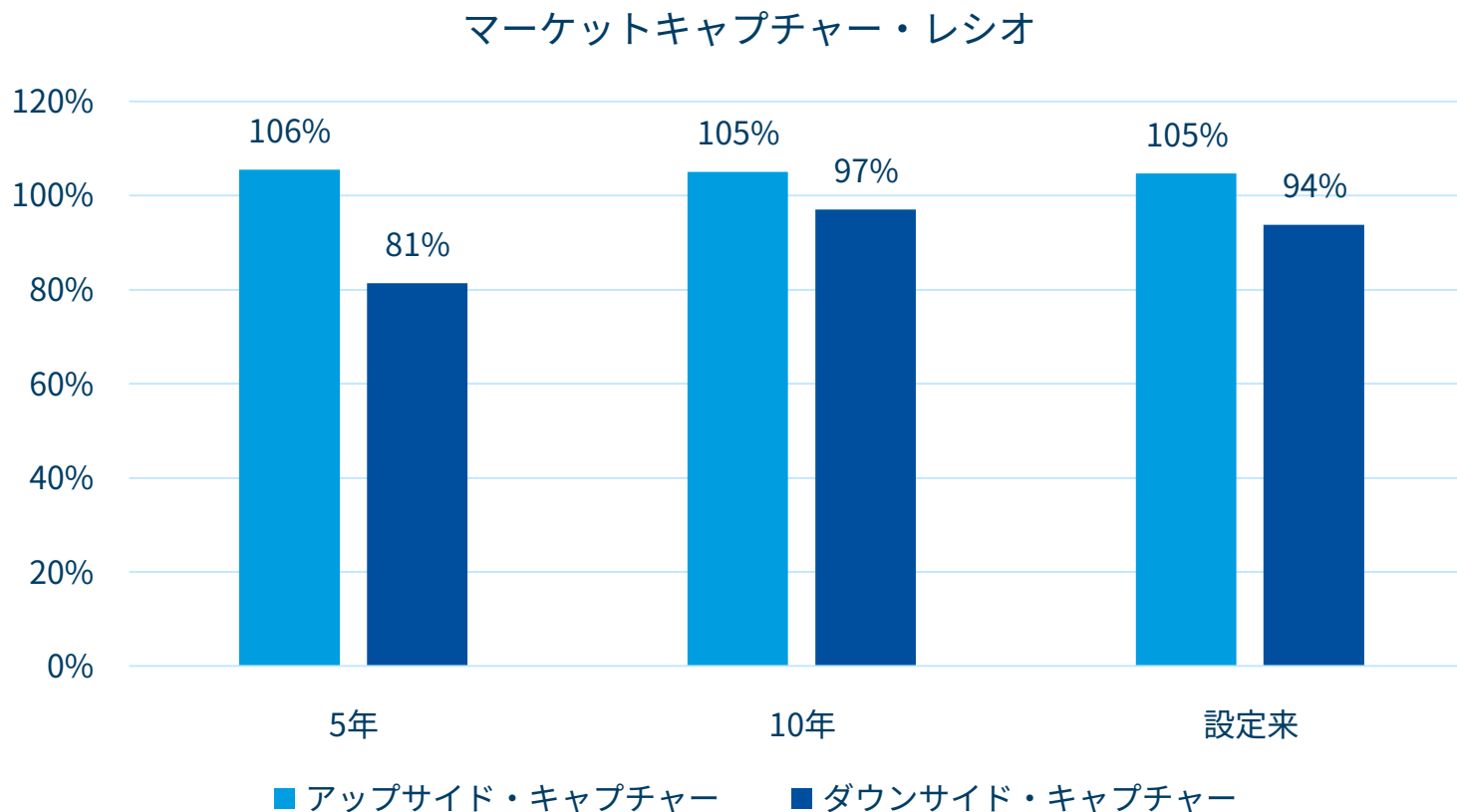
項目	値
トータルリスク	5.7%
マーケット	2.2%
スタイル	2.7%
業種	2.1%
国	0.4%
通貨	1.2%
銘柄選択	3.2%



(出所)アムンディジャパン、BarraOneモデル、2025年6月末時点。当戦略としてのUCITsを利用。対MSCI-World。右表の単位は標準偏差。ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の保有状況と異なる場合があります。

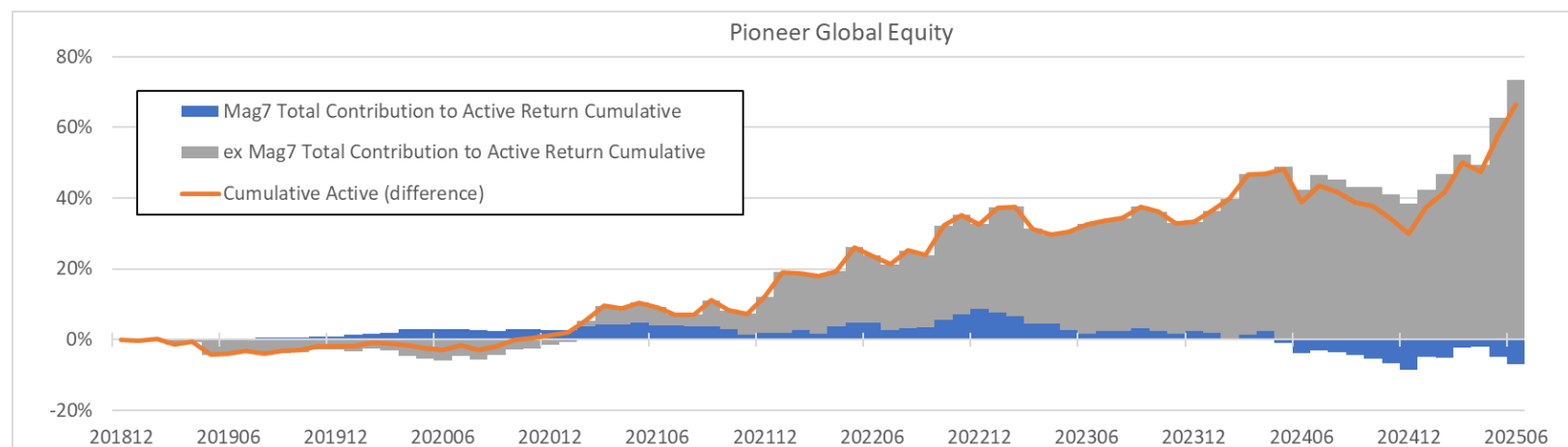
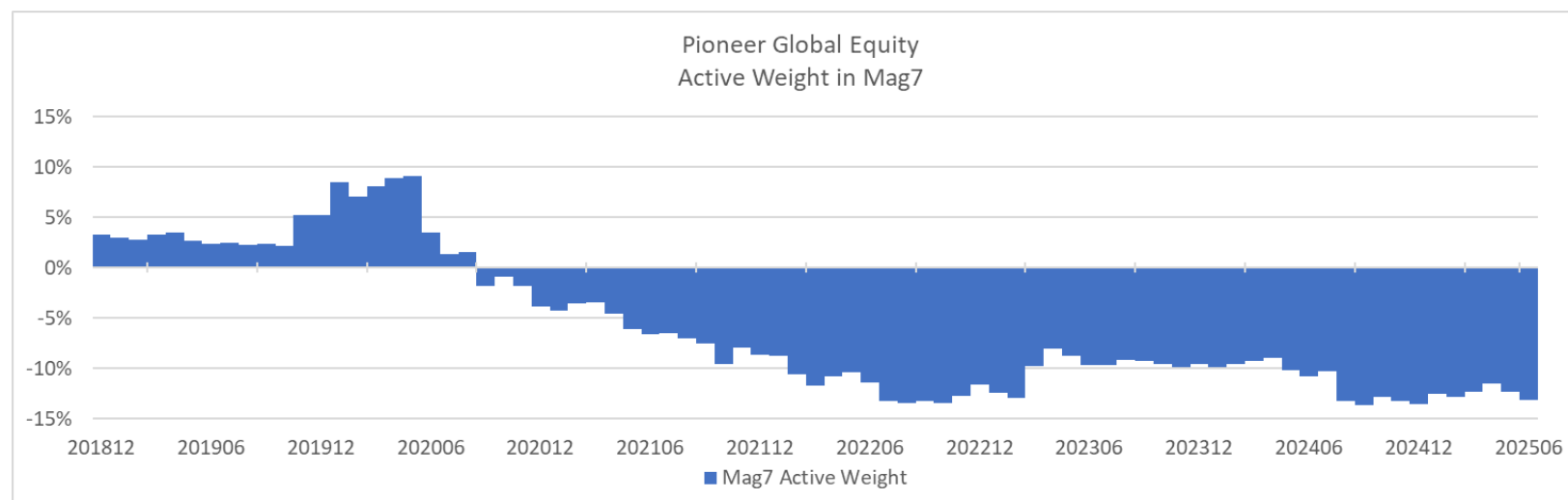
アップサイドとダウンサイドの非対称性

中長期にわたって、アップサイド・ダウンサイドともに良好なパフォーマンス



(出所) アムンディ、コンポジットリターンベース (米ドル建て)、ベンチマークはMSCI ACWI指数
(期間) 2010年10月～2025年6月

マグニフィセント7のポジションによる寄与

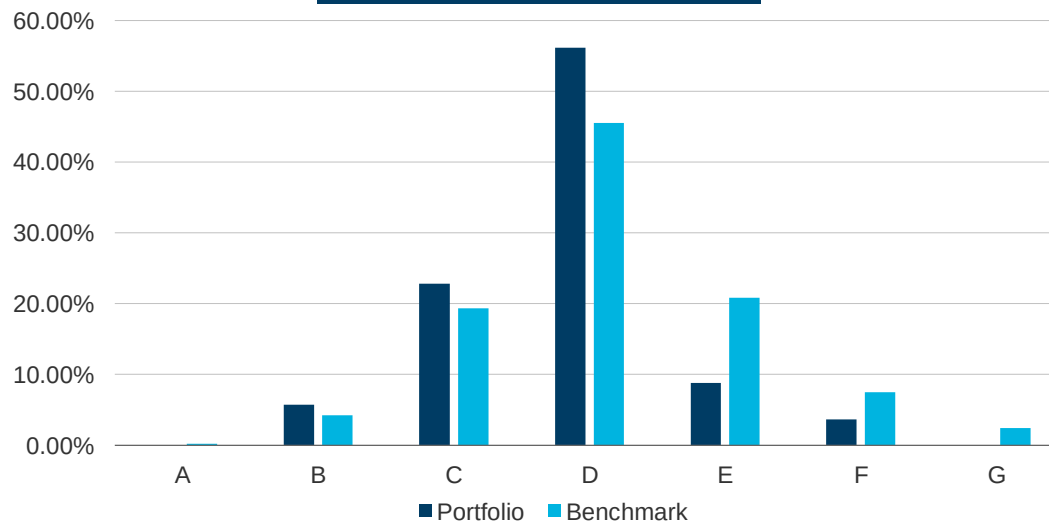


(出所)アムンディ、Factset、2025年6月末現在、米ドルベース。代表ポートフォリオ（米国籍）対 MSCI ACWI ネット配当再投資指数。寄与分析のために算出されたデータに基づき、ファンドの実際のリターンとは誤差あり。記載されている特定の証券の買付または売却を推奨するものではありません。上記は過去の実績であり、将来の投資成果をお約束するものではありません。

ポートフォリオのESGスコア

目標：ポートフォリオの加重平均ESGスコアがベンチマーク以上（Beat the BM）

アムンディESG格付け分布



Amundi ESG評価	当戦略	MSCI World
加重平均	D	D

(出所)アムンディ、2025年6月末現在。当戦略として代表ポートフォリオ（UCIT）を利用、ベンチマークはMSCI World、ESG評価はアムンディ。ポートフォリオはアクティブに運用されており、現在の保有状況と異なる場合があります。

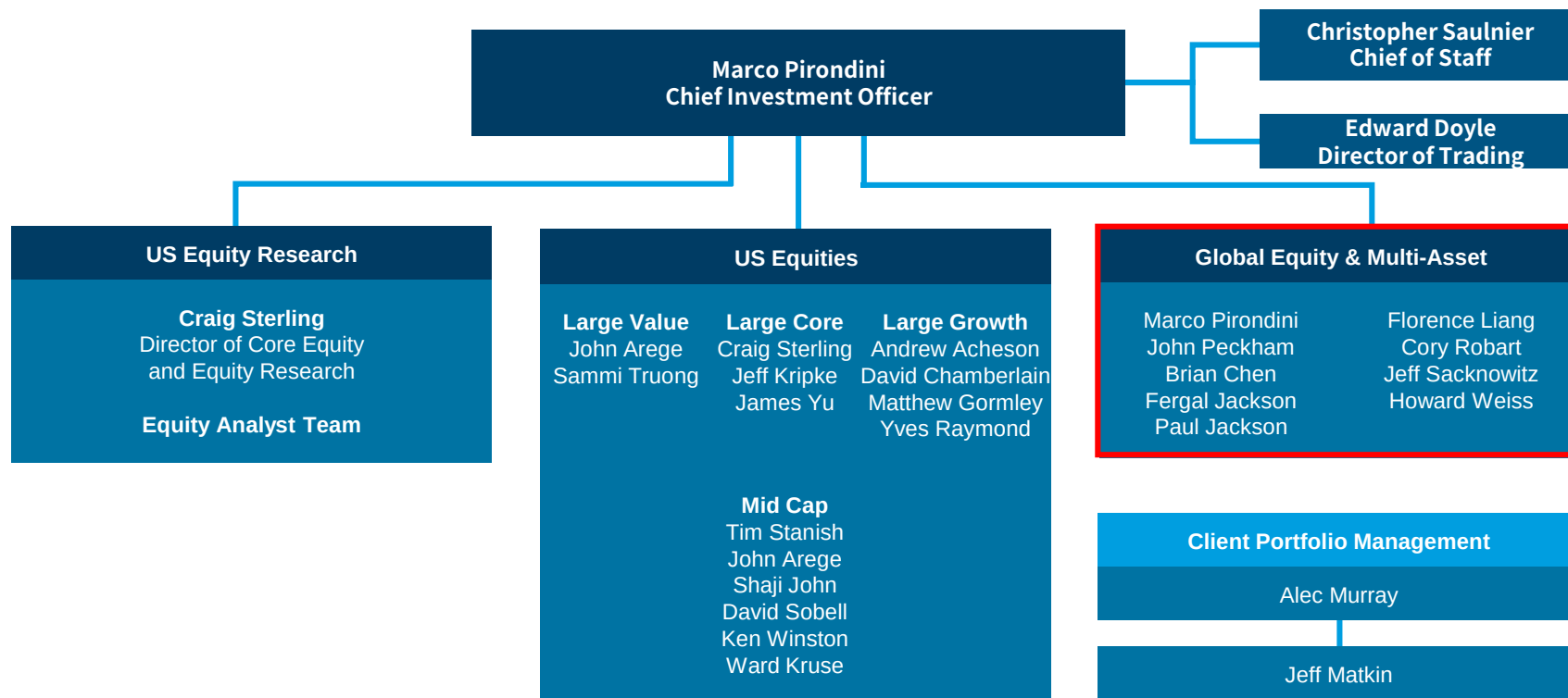
アムンディは、「Best in Class」アプローチに基づいて、独自のESG評価プロセスを開発し、業種ごとに適合した手法によって企業を評価しています。個別発行体のESGの評価と分析は、アムンディのESG分析チーム内で行われ、当戦略の意思決定プロセスに独立したインプットを提供しています。アムンディのESG評価は、A（最高スコア）からG（最低スコア）までの7段階の定量的スコアで示されます。G評価に相当する銘柄はアムンディグループのポリシーとして投資ユニバースから除外されます。具体的には、タバコ製品や、クラスター兵器、対人地雷、核兵器、生物化学兵器などの非人道的兵器関連企業、一部の火力発電用炭鉱も含まれます。入手可能な情報に基づき、発行体がそのような活動から総収入の10%以上を得た場合、その活動に著しく関与していると見なされます。

05

運用体制

パイオニア・インベストメンツ-運用調査体制

平均年数：運用経験27年、パイオニア・インベストメンツ在籍13年



(出所)パイオニア・インベストメンツ、2025年6月末現在

当戦略の運用体制

専任の運用チームがトップダウンおよびボトムアップのグローバルリサーチ体制を活用



(出所)パイオニア・インベストメンツ、2025年6月末現在

投資一任契約の手数料およびリスクについて

有価証券等への投資に関する主なリスクについて:

- ー 投資一任契約に基づく有価証券の投資には、株式投資のリスク（価格変動リスク・信用リスク・流動性リスク）為替リスク、カントリー・リスクに関わるリスク等があります。したがって、投資元本が保証されているものではなく、当該有価証券等の値動きにより損失が生じ、投資元本を割り込むことがあります。

費用について:

お客様に、実質的にご負担いただく費用等の概要は以下の通りです。

投資一任契約を通じて投資する外国投資信託における費用等は決定されていないこと、また有価証券の売買委託手数料は事前に計算できないことから、実際にご負担いただく費用の金額等を記載しておりません。

○ AMUNDI FUNDS PIONEER GLOBAL EQUITY

<直接ご負担いただく費用>

- (1) 投資顧問報酬（税別） 一律 0.10%（別途、消費税をいただきます）

<間接的にご負担いただく費用>（ファンド内から徴収されます）

- (2) 組入れる予定のファンドの費用等

- ①運用報酬：年率 0.70%（税別）

年率 0.65%（税別、25百万ユーロ相当以上の投資）

- ②その他の報酬・費用：ファンドにおいて徴収されるその他の報酬・保管費用、監査報酬等をファンドより支出いたします。その他の費用およびその合計金額については、総額で年率0.06～0.10%程度ですが、これは運用状況等により変動する可能性があり、事前に料率・上限等を示すことが出来ません。

当資料で使用した指標とその権利について

- The MSCI information may only be used for your internal use, may not be reproduced or re-disseminated in any form and may not be used as a basis for or a component of any financial instruments or products or indices. None of the MSCI information is intended to constitute investment advice or a recommendation to make (or refrain from making) any kind of investment decision and may not be relied on as such. Historical data and analysis should not be taken as an indication or guarantee of any future performance analysis, forecast or prediction. The MSCI information is provided on an “as is” basis and the user of this information assumes the entire risk of any use made of this information. MSCI, each of its affiliates and any other person involved in or related to compiling, computing or creating any MSCI information (collectively, the “MSCI Parties”) expressly disclaims all warranties (including, without limitation, any warranties of originality, accuracy, completeness, timeliness, non-infringement, merchantability and fitness for a particular purpose) with respect to this information. Without limiting any of the foregoing, in no event shall any MSCI Party have any liability for any direct, indirect, special, incidental, punitive, consequential (including, without limitation, lost profits) or any other damages. (www.mscibarra.com).

本資料のご利用に当たっての注意事項等

- ◆本資料でご紹介する戦略は、投資一任契約に基づき、外国籍投資信託（以下「投資対象ファンド」ということがあります。）を組入れて運用を行うことを前提としています。そのため、本資料には当戦略についての理解を深めて頂くためのご参考資料として、投資対象ファンドに関する情報が含まれています。
- ◆本資料は、投資一任契約の締結を前提とする情報提供を目的として、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料であり、個別の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。
- ◆本資料は、各種の信頼できると考えられる情報をもとに作成されていますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- ◆本資料の中で記載されている内容・数値・図表・意見・予測等は、本資料作成時点のものであり、将来の市場動向、運用成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- ◆投資一任契約のお申込みにあたっては、契約締結前交付書面をお渡しいたしますので、必ず内容をよくお読みください。

4754118